

スターティング・チャージング(1G-FE)

スターティングシステム	SC-1
単体点検	SC-1
スタータASSY	SC-2
脱着	SC-2
チャージングシステム	SC-3
機能点検	SC-3
オルタネータASSY	SC-4
脱着	SC-4

変更概要

1G-FEエンジンの改良により、マークII、チェイサー、クレスタ修理書/追補版(品番62187、1997年8月発行)の内容から次の項目を変更しました。

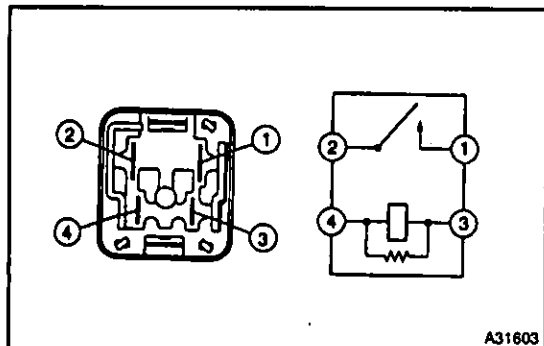
1. スターティングシステム
 - 単体点検(スタータリレーASSYの変更)
2. スタータASSY
 - 脱着
3. チャージングシステム
 - 機能点検
4. オルタネータASSY
 - 脱着

MEMO

スターティングシステム

SC034-01

単体点検



1. スタータリレーASSY

(a) 抵抗および導通点検

(1) SSTを使用して、各端子間の抵抗を測定する。

SST 09082-00030

基準値

3 ⇔ 4 端子間 60~100Ω (約20℃)

1 ⇔ 2 端子間 10MΩ以上

(2) 3 ⇔ 4 端子間にバッテリー電圧をかけたとき、1 ⇔ 2 端子間の導通の有無を確認する。

SST 09082-00030

基準

導通あり

スタータASSY

SC03-01

脱着

1. バッテリー“-”ターミナル取りはずし
2. エアクリーニンレットNo.1取りはずし(4WD車)
3. エキゾーストパイプASSY FR取りはずし(4WD車)
4. プロペラ ウィズ センタベアリングシャフトASSY取りはずし(4WD車)
5. フロントプロペラシャフトASSY取りはずし(4WD車)
6. エンジンリヤマウンティングメンバー切り離し(4WD車)
- (a) ジャッキで保持して、エンジンリヤマウンティングメンバーを切り離す。
7. スタータASSY取りはずし
 - (a) コネクターを切り離す。
 - (b) ナットをはずし、30端子ターミナルを取りはずす。
 - (c) ボルト2本をはずし、スタータASSYを取りはずす。
8. スタータASSY取り付け

基準値

$T=37\text{N}\cdot\text{m}$ {380kgf·cm} (スタータ×トランスミッション)

$T=9.8\text{N}\cdot\text{m}$ {100kgf·cm} (30端子用ナット)
9. エンジンリヤマウンティングメンバー取り付け(4WD車)

基準値

$T=25\text{N}\cdot\text{m}$ {250kgf·cm}
10. フロントプロペラシャフトASSY取り付け(4WD車)

基準値

$T=25\text{N}\cdot\text{m}$ {250kgf·cm}
11. プロペラ ウィズ センタベアリングシャフトASSY取り付け(4WD車)

基準値

$T=36.8\text{N}\cdot\text{m}$ {375kgf·cm} (センタベアリング×ボデー)

$T=37.2\text{N}\cdot\text{m}$ {380kgf·cm}

(プロペラ×コンパニオンフランジ)
12. エキゾーストパイプASSY FR取り付け(4WD車)
 - (a) 新品のガスケットを介して、エキゾーストパイプASSY FRを取り付ける。

基準値

$T=62.0\text{N}\cdot\text{m}$ {630kgf·cm}
13. エアクリーニンレットNo.1取り付け(4WD車)

基準値

$T=5.0\text{N}\cdot\text{m}$ {50kgf·cm}
14. バッテリー“-”ターミナル取り付け

チャージングシステム

SC03-01

機能点検

1. バッテリー比重点検

基準値

1.25~1.29 (液温20℃)

2. バッテリーターミナル点検

3. ヒューズ点検

4. 配線状態点検

5. 異音点検

6. 無負荷試験 (調整電圧点検)

- (a) エンジン回転数を2000r/minまで上げたときのバッテリー両端の電圧を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00300

基準値

13.2~14.8V (10A以下時)

7. 負荷試験 (出力電流点検)

- (a) 無負荷試験の状態より、ヘッドランプをハイビームに、ヒーターブロースイッチをHiにして、エンジン回転数を2000r/minにセットした状態でただちに電流を測定する。

SST 09082-00030, 09083-00300

基準値

30A以上

<参考>

基準電流以下を示して、バッテリーが完全充電状態の場合、電流が小さくなるので、負荷を増し(ワイパーモーター、リヤデフォグーなどを作動させる)再度測定する。

オルタネータASSY

9C037-01

脱着

1. バッテリー“-”ターミナル取りはずし
2. エアクリーニンレットNo.1取りはずし
3. クーラVベルト(コンプレッサ ツウ クランクプーリ)
No.1取りはずし
4. ファン & オルタネータVベルト取りはずし
5. シリンダーヘッドカバーNo.3取りはずし
6. オルタネータASSY取りはずし
7. オルタネータASSY取り付け

基準値

$$T=70N\cdot m \{700kgf\cdot cm\}$$

(オルタネーター×ウォーターアウトレット)

$$T=13N\cdot m \{130kgf\cdot cm\}$$

(オルタネーター×ファンベルトアジャスティングバー)

$$T=9.8N\cdot m \{100kgf\cdot cm\} \text{ (+B端子×ターミナル)}$$

8. シリンダーヘッドカバーNo.3取り付け

基準値

$$T=7.5N\cdot m \{75kgf\cdot cm\}$$

9. ファン & オルタネータVベルト取り付け
(要領はEM-6参照)
10. クーラVベルト(コンプレッサ ツウ クランクプーリ)
No.1取り付け
(要領はEM-6参照)
11. エアクリーニンレットNo.1取り付け

基準値

$$T=5.0N\cdot m \{50kgf\cdot cm\}$$

12. バッテリー“-”ターミナル取り付け